

一、書画同源

中国には『書画同源』という考え方があります。書道と絵画は根本的に同じという意味です。中国最古の文字である『甲骨文』は、絵のように描かれた原始文字であり、漢字と絵画の起源となるものです。この意味を踏まえることで、書道も絵画と同じく、造形美をもって伝え表現するということ意識が生まれるのです。

二、水墨画

水墨画は、唐の時代に成立したとされ、中国を基盤に東アジア文化圏に広く根付いた東洋絵画の代表的画法です。墨線と墨の濃淡を利用し、味わい深い独特の明暗世界を表現します。ここでは、実際に水墨画を描きながら、筆と墨の使い方を説明していきます。

第212回中国理解講座

中国伝統書道と水墨画

劉銘義氏（王羲之書法用筆研究会会長）

二、中国伝統書道

中国伝統書道は、基本的に筆法（筆の使い方）と形構成（字の形）から成ります。特に筆法は伝統書道の核となるものであり、この基本を丁寧に覚える事が何より大切です。ここでは、中国伝統書道の礎とされる『王羲之』の筆法を実演しながら説明していきます。更に筆の使い方を分析しながら、伝統書道の鑑賞方法も伝えたいと思います。

中国水墨画に用いる筆は、書道に使用する筆と同じです。ただ重要な点は、水墨画を描く時には、書道の筆法を応用して描くことで、生き生きとした絵を描くことができますが、絵を描く筆使いでは、書道は成立しません。この違いを実演して説明をします。

11/22

10:00~11:30

参加無料(要事前申込)

立命館孔子学院講義室+オンラインライブ配信



お申込み・お問合せ

立命館孔子学院

603-8577 京都市北区等持院北町56-1 アカデミア立命21内

TEL 075-465-8426 Mail koza@st.ritsumei.ac.jp HP <https://www.ritsumei.ac.jp/confucius/>